

新生産者役員から

Message

21世紀はRadixの会がリードしたい!

新・会長

五月女 清以智(はるこま屋)

来期よりRadixの会会長を引き受けましたはるこま屋の五月女です。この間いろいろな変化がありました。しかしながら皆様が作るものが会員さんに支持され伸びていくという手ごたえが確実なものとしてあったと思います。

昨今デフレという現象が囁かれています。非常に恐怖に思っています。物の価値がなくなるということ。しかしながら我々が作っているものは単なる物ではなく作品だと思っています。食べ物はエサではなく文化です。我々の生業がより広げ、認められるように活動を展開していきたいと思っています。

Radixの会は実態が分からないと言われていましたが、我々はらでいっしゅぼーやと取引をしている生産者の集まりです。らでいっしゅぼーやの協力なしでは運営できません。より会員様に支持される商品を作ることによってらでいっしゅぼーやも伸びていく。21世紀はRadixの会がらでいっしゅぼーやをリードしていきたいと思っています。共にほどほどに大きくなっていきましょう。

作る人、届ける人、 食べる人の輪

新・副会長(農産)
蓬臺雅吾(紀の芽の会)

らでいっしゅぼーやとのお付き合いも10年余り。今までのいろいろな生産者集会において、生産者はいつも“カヤの外”的立場に置かれ、政治的集会のように感じたこともありました。

しかし今回の第一回総会では、らでいっしゅぼーや生産者集会から

Radixの会への流れ、らでいっしゅぼーやの今後の方向性が明確な形で打ち出されたことで本当に生産者自身安心出来たように思われます。

最も良かったのは、我々の出資した会費が生産及び品質向上のためにいかに使われているかをガラス張りに発表できたこと。事務局の方々に改めてお礼申し上げます。皆さんに「Radixの会計は？」と聞かれて胸を張ってお答えできることはたいへん嬉しいことです。

全国の生産者からの食材で作る心温まる鍋を囲み、らでいっしゅぼーやスタッフのおもてなしで、みなさんと語らう。これが作る人届ける人食べる人の輪です。この輪が益々大きく、太くなるように私も微力ながら任期期間中元気に頑張りたいと思います。みなさまご苦労さまでした。

大きな根っこを育てていこう

新・副会長(畜産)
高橋 祐之(えりもビーフ)

この度の総会において、皆さまにRadixの会副会長としてご承認いただきました。激流が渦巻くこの時代に身の引き締まる思いでお引き受けいたしました。少しでも皆さまのお役に立てるよう努力致しますのでよろしくお願いいたします。

Radixの会も組織体制が整い各専門部会、さらにブロック組織、分科会と活動しやすい体制となりました。どうかそこを活かし、皆さんが考え・悩み・これから目指す物など活発に活動を展開され、横のつながりを更に強い物にし、厳しい時代ですが元気に本来を目指していただきたい。

いま食の安全性・信頼を根底から揺るがす事件が続くなかで、1つの方向が見えたと思います。技術・情

報・交流(絆)、これまでそれぞれが積み上げて来たことを更に推し進めなければならない柱と考えます。

今一度見つめ直し、ここを新しい始まりの時とし大きな根っこを育てていきたいと思っています。

山があり田畑があり海がある 新・副会長(食品)

竹並 一人(別所かまぼこ店)

先日22日に開催されたRadixの会第一回総会は大盛況で、私にとりましてもらでいっしゅぼーやの役員の方々をはじめ多くのスタッフと会い、話が出来たことはたいへん為になり共感しました。夢を実現しようとの思いは懇親会の中でもひしひしと感じました。我々は環境保全型生産者であるとの認識で一致し、生産と消費の間をつないでいくらでいっしゅぼーやの深い思いが分かりやすく説明され感銘を受けました。

この度、副会長の重き任に就くにあたりまして、会員みなさんとのなお一層の相互向上をもたらせるよう気持ちを引き締めております。

前年度より引続いての「衛生講習会」「養殖研究会」、また「水産分科会」の実施、栄養分析・菌検査などについての体制作りもしていきたいと思っています。山があり田畑があり海があるという自然の大切さを想い合わせながら、水産加工の一員として微力ではありますが尽力したいと思っております。ぜひ水産加工の現場からの声をよろしくお願いいたします。

夢に向かい前向きに! 新・幹事(農産北海道ブロック)

坂東俊和

2002年2月22日、第一回のRadixの総会に400人以上の参加者を得、今